

第 112 回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会
2022 年第 1 回 電気学会 電磁界理論技術委員会
合同委員会議事録（案）

日時：2022 年 3 月 18 日（金）15:30 ～ 16:30

場所：オンライン開催

出席者：

（電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会）

出口 委員長（同志社大）、川口 副委員長（室蘭工大）、中 幹事（宮崎大）、山本 幹事（三菱電機）、新納 幹事補佐（京都大）、石田 委員（九産大）、尾崎 委員（金沢大）、尾崎 委員（日本大）、河野 委員（防衛大）、黒木 委員（都立産技高専）、佐藤 委員（新潟大）、杉坂 委員（北見工大）、鈴木 委員（都立大）、園田 委員（仙台大）、田村 委員（工繊大）、西岡 委員（三菱電機）、藤田 委員（埼玉工大）、松岡 委員（九産大）、森山 委員（長崎大）、渡辺 委員（福工大）

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

松島 委員長（熊本大）、川口 幹事（室蘭工大）、鈴木 幹事（都立大）、杉坂 幹事補佐（北見工大）、有馬 委員（東京農工大）、石田 委員（九産大）、西岡 委員（三菱電機）、上田 委員（京都工繊大）、尾崎 委員（日本大）、後藤 委員（防衛大）、菅原 委員（近畿大）、田中 委員（岐阜大）、出口 委員（同志社大）、藤崎 委員（福工大）

議題：

1. 第 111 回電磁界理論研究専門委員会・2021 年第 3 回電磁界理論技術委員会 合同委員会議事録（案）
（電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会）
2. 2021-22 年度電磁界理論研究会活動について
 - 3-1. 2021 年度最終決算見込
 - 3-2. 2022 年度研究会・研究専門委員会 会場費の申請
4. 電子情報通信学会の研専会計事務取込みについて
5. 2021 年電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者
6. 電子情報通信学会英文論文誌 C（2023 年 4 月号）小特集について
7. 2022 年 EMT 小特集に投稿された論文の扱いについて
8. 英文論文誌 C の OA 化について
9. 2022 年電子情報通信学会ソサイエティ大会におけるシンポジウムセッションについて
10. 電磁界理論研究専門委員会 専門委員構成について

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

11. 電気学会 A 部門活動資金報告書（第 50 回電磁界理論シンポジウム特別講演）
12. 電気学会 A 部門活動資金申請書（第 51 回電磁界理論シンポジウム特別講演）
13. 令和 3 年度電気学会 A 賞および部門表彰の報告

14. 電気学会電磁界理論技術委員会 (IEEJ-EMT) 委員の退任・新任について
15. 2022 年度 電気学会電磁界理論技術委員会名簿
16. 研究会非会員参加有料化について
17. 研究会企画連絡シート (6 月電磁界理論研究会)
18. 研究会企画連絡シート (7 月光・電波ワークショップ)
19. IEEJ 共通英文論文誌 OA 化と ORCID について

共通議題 議事

1. 第 111 回電磁界理論研究専門委員会議事録の確認

出口委員長より資料 No. 112-1 に基づき前回議事録の確認があり、承認された。

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会 議事

2. 2021-2022 年度（令和 3 年度）電磁界理論研究会活動（報告と計画）

中幹事より資料 No. 112-2 に基づき 2021-2022 年度の電磁界理論研究会活動の報告があり、承認された。出口委員長より 6 月研究会が開催予定の電気学会会議室について質問があり、ハイブリッド開催のための備品を備えた会場であることが確認された。また鈴木幹事より、電気学会側の日程の都合により電磁界理論シンポジウムの開催日程を 6 月の合同委員会までに決定する必要があることが確認された。尾崎委員よりソサイエティ大会が対面で実施されるか質問があり、中幹事より現時点では対面を予定しているとの回答があった。

3-1. 2021 年度決算見込み

新納幹事補佐より資料 No. 112-3-1 に基づき 2021 年度の決算見込みについて報告があり、承認された。

3-2. 研専会場費申請について

新納幹事補佐より資料 No. 112-3-2 に基づき電子情報通信学会英文論文誌 C(2022 年 4 月号)小特集の投稿状況及び今後のスケジュールについて報告があり、承認された。

4. 電子情報通信学会の研専会計事務取込みについて

新納幹事補佐より資料 No. 112-4 に基づき電子情報通信学会の研専会計事務取込みについて報告があった。中幹事より研専内での会計の取りまとめが必要ではないかとの質問があり、出口委員長より研専内で連絡を取りながら会計処理の方法を決めていくことが確認された。

5. 2021 年電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者

新納幹事補佐より資料 No. 112-6 に電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者について報告があった。

6. 電子情報通信学会英文論文誌 C（2023 年 4 月号）小特集について

中幹事より資料 No. 112-6 に基づき電子情報通信学会英文論文誌 C（2023 年 4 月号）小特集について報告があった。編集委員会はこれまで投稿毎にメール審議するようしていたが、出口委員長から締切より早く出された論文については引き続きメール審議を続けながら、締切間際の投稿については編集会議を（オンラインか対面で）開くことが提案され、承認された。また論文投稿締切が 4 月 11 日まで延長されることが提案され、承認された。

7. 2022 年 EMT 小特集に投稿された論文の扱いについて

佐藤委員より資料 No. 112-7 に基づき 2022 年 EMT 小特集に投稿された論文の処理が遅れた件について、英文論文誌のレギュラー論文として掲載するか、次年度の小特集に掲載することが認められたことが報告された。出口委員長より再発防止のために特集号への投稿を幹事二人でダブルチェックすることが確

認された。また中幹事より著者の意向について質問があり、鈴木幹事よりこれから著者に意向を伺ってどちらの論文誌に掲載するかを決めるとの回答があった。

8. 英文論文誌CのOA化について

佐藤委員より資料No. 112-8に基づき英文論文誌CのOA化について報告があった。中幹事より2023年8月号以前の論文誌の扱いに関して質問があり、佐藤委員より2023年8月号以前の論文についてはこれまで通りの扱いで、8月号以降がOA化の対象であるとの回答があった。

9. 2022年電子情報通信学会ソサイエティ大会におけるシンポジウムセッションについて

山本委員より資料No. 112-9に基づき2022年電子情報通信学会ソサイエティ大会におけるシンポジウムセッションについて報告があった。

10. 令和3年度電磁界理論研究専門委員会構成

出口委員長より資料No. 112-10に基づき令和3年度電磁界理論研究専門委員会構成について、2017年委嘱の柴崎委員、園田委員が任期により退任することが報告され、承認された。また幹事、幹事補佐の交代時期が近いと、後任の推薦者の募集が各委員に周知された。

出口委員長より総合大会のプレナリーセッションで用いられたEventInというツールについて意見が募られた

山本委員より第51回電磁界理論シンポジウムの進捗状況について報告があった。

電気学会 電磁界理論技術委員会 議事

11. 電気学会A部門活動資金報告書（第50回電磁界理論シンポジウム特別講演）

松島委員長より資料No. 2022-ETC1-2に基づき電気学会A部門活動資金報告書（第50回電磁界理論シンポジウム特別講演）について報告があった。

12. 電気学会A部門活動資金申請書（第51回電磁界理論シンポジウム特別講演）

松島委員長より資料No. 2022-ETC1-2に基づき2021年度電気学会A部門活動資金申請書（第51回電磁界理論シンポジウム特別講演）について報告され、承認された。

13. 令和3年電気学会A賞および部門表彰の報告

松島委員長より資料No. 2022-ETC1-3に基づき、令和3年電気学会A賞および部門表彰について報告がなされた。

14. 電気学会電磁界理論技術委員会(IEEJ-EMT)委員の退任・新任について

松島委員長より資料No. 2022-ETC1-4に基づき、電気学会電磁界理論技術委員会(IEEJ-EMT)委員の退任・新任について報告がなされた。

15. 2022 年度電気学会電磁界理論技術委員会名簿
松島委員長より資料 No. 2022-ETC1-5 に基づき、2022 年度の電気学会電磁界理論技術委員会名簿について説明がなされた。
16. 研究会非会員参加有料化後の運営方法について検討のお願い
松島委員長より資料 No. 2022-ETC1-6 に基づき、研究会非会員参加有料化後の運営方法について説明がなされた。
17. 電気学会 研究会企画連絡シート（6 月電磁界理論研究会）
18. 電気学会 研究会企画連絡シート（7 月光・電波ワークショップ）
鈴木委員より資料 No. 2022-ETC1-7, No. 2022-ETC1-8 に基づき、6 月電磁界理論研究会及び7 月光・電波ワークショップの研究会企画連絡シートについて報告があり、承認された。
19. IEEJ 共通英文論文誌 OA 化と ORCID について
尾崎委員より資料 No. 2022-ETC1-9 に基づき、IEEJ 共通英文論文誌 OA 化について報告があった。A 部門の編集委員会ではハイブリッドに移行後、OA 化する案が支持されていることが報告された。松島委員長より研専でも同様の案を支持することが確認され、承認された。また尾崎委員より、同資料に基づき ORCID を電気学会誌の投稿論文の著者欄に記載することが報告され、承認された。